



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!

Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 17

平成29年7月7日

Ⅱ期開始！全校集会

- 1 はじめの言葉 (*** **)
- 2 生徒会長あいさつ (*** *)



- 3 執行部、専門委員会からⅠ期の反省とⅡ期の目標発表

- (1) 生徒会執行部 (** ***)
「チーム意和氣一丸となって、岩中祭を成功させよう！」
- (2) 学習委員会 (** ***)
「自分から進んで発表し、学ぶ喜びを感じよう！」



- (3) 生活委員会 (** ***)
「はじめをつけて行動し、
全校が手本となるあいさつをしよう！」
- (4) 環境委員会 (** ***)
「岩城中の清掃を意識し、地域を美化しよう！」



- (5) 保健体育委員会 (** ***)
「暑さに負けず、健康な生活をしよう！」
「球技大会を成功させよう！」
- (6) 給食委員会 (** ***)
「衛生面に気を付けて給食を食べよう！」



- (7) 図書委員会 (** ***)

「本の魅力を全校に伝えよう！」

- (8) 放送委員会 (** * ***)

「毎日の放送を通して、
全校がスムーズに行動できるようにしよう！」



- 4 校長先生の話 (抜粋)



第Ⅰ期が終わりⅡ期になりました。第Ⅰ期のテーマは、『自分を鍛えて』でした。沢山チャレンジしましたね。修学旅行、運動会、スプリングセミナー、地域探訪、地区中総体、中間テスト。よく頑張りました。Ⅱ期のテーマは、『協調する喜び』です。岩中祭などへの取り組みを通して、それぞれの持ち味や能力を生かしながら、協力して成し遂げることのすばらしさを体得することが目標です。岩中祭が大きなウエイトをしめるでしょうが、吹奏楽コンクール、全県中総体、期末テスト、球技大会などもありますね。果敢にチャレンジしましょう。

Ⅱ期の始まりに当たり、対話について話したいと思います。岩城中学校の特色として3本柱がありますね、NC制もあります、学校の研修としては、対話という事を重視しています。本校での対話は、自分以外の人と話すだけでなく、自分自身と対話すること(自問)も対話として重視しています。そして対話は、言葉を介して行われていますね。言葉を磨いていきましょう。

あいさつや返事も対話の一つです。対話の一番基本となるものだと思います。だから大切なのですね。おはようございます、さようなら、こんにちは…等があります。何か大会やコンクール等があったときなどは、頑張っ→はい！で終わっていませんか？もう一つほしいですね。難しいことではありません。はい！ありがとうございます！です。そして頑張りますなどがあればもっといいと思います。先生や指導者等から何か教えていただいた時にも、はい！ありがとうございます！もし、分からないことがあったら、ここはどうすればいいのでしょうか？もう一度詳しく教えてください！など…

また、私は以前、次のようなことを話しました。「思考は、言葉になり、行動になり、習慣になり、性格になり、やがては運命になります」というようなことを話しました。マザーテレサの言葉ですね。言葉（対話）は運命になります。

人間は、言葉を通して生きていますから、言葉で対話して行ってほしいのです。中学生ですから、自分ともたくさん対話してください。これでいいのだろうか？…と。今、皆さんは、たくさんの対話を通して、人間関係にトラブルが生じることも多くあるかと思います。そのトラブルは、言葉を通して対話で解決して行ってほしいと思います。たくさん言葉を知っていれば対話も良好になっていくと思います。だから、たくさん本を読んだり、対話をしたり、暗唱したりして自分のものにして行ってほしいと思うのです。

目標をしっかりとち、時間を有効に使い、対話を通して「協調する喜び」が得られるような学校生活を送りましょう。皆さんの対話を通した第Ⅱ期での頑張り・活躍を期待します。



5 その他

6 終わりの言葉 (** ***)



フー！フー！吹奏楽部！



吹奏楽コンクール 秋田県中央地区大会

吹奏楽コンクール第59回秋田県中央地区大会が開催されます。今年は、中学校小編成（編成25名まで）の部に出場し、演奏します。吹奏楽部における地区中総体的なコンクールです。

日時：7月9日（日）開演10：30～

場所：秋田県民会館大ホール

出演時間：11：10～11：17

演奏曲：『いつか見た海』

※作曲者（足立正）による楽曲紹介：タイトルには幼い頃に見た故郷の海という意味があります。具体的なストーリーは、旅人が波の音に誘われて海辺に行くと、故郷の海によく似た風景を目にし、懐かしさから久しぶりに帰郷する決心をします。テンポが速くなってからは故郷を目指す航海のシーン。最初は心地良い潮風が吹いていましたが、一転海が荒れ始め、波にもまれて旅人は意識を失ってしまいます。中間部は真っ暗でどんよりとした静かな夜の海。意識が戻った旅人は、なんとも言えない孤独を感じます。やがて夜が明け始め、ほっとすると同時に郷愁が深まり、切なさが胸に押し寄せてきます。とても哀しい気持ちになった旅人ですが、幼い頃に体験した故郷の祭りのことが頭をよぎり、祭り囃子が頭の中に鳴り響き始めます。ますます故郷への思いを強めた旅人は、船旅を再開します。空は晴れ渡り、潮風が以前にも増して心地良い。行く手を邪魔するかのように再び海が荒れ始めますが、航海に出た時よりも逞しさを増した旅人は、荒波を乗り越えて突き進んでいきます。一際大きな波を乗り越えると、懐かしい風景が目に入ります。旅人が遂に「いつか見た海」へと帰ってきたところで、力強く曲を閉じます。

「努力と感謝」 ** **



私たち岩城中学校吹奏楽部は、今年度のコンクールで日本情緒ただよう曲を演奏します。7分という時間のために、何十時間も練習に費やしてきました。それでも、まだ完璧といえる演奏ではなく、完璧に少しでも近づけるよう、頑張っています。私たちのために、岩城小学校の運藤先生やパーカッション指導者の渡辺さんが何度か来てくださり、指導してくださいました。今まで学んできたことを発揮できるよう、心のこもった演奏をしてきたいと思います。

是非、足をお運びいただき、コンクールを鑑賞に来てくだされば幸いです。私たちが演奏する曲は、郷愁ただよう、和のテイストの曲になっています。

ゴールド金賞がとれるよう、一生懸命頑張ります。応援よろしくお願ひします。

